

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成23年8月11日(2011.8.11)

【公開番号】特開2010-16511(P2010-16511A)

【公開日】平成22年1月21日(2010.1.21)

【年通号数】公開・登録公報2010-003

【出願番号】特願2008-173010(P2008-173010)

【国際特許分類】

H 04 N 5/232 (2006.01)

G 06 T 1/00 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/232 Z

G 06 T 1/00 200 E

【手続補正書】

【提出日】平成23年6月24日(2011.6.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

撮影者と撮影装置の位置関係を一定にして撮影位置を移動しながら連続撮影を行う撮影装置において、

被写体像の画像データを取得する撮影部と、

上記画像データに基づいて、上記撮影位置の移動に伴って変化する背景画像の変化を判定する判定部と、

上記判定部による判定に基づいて、上記連続撮影された画像の大きさを変化させる画像処理部と、

上記画像処理部によって処理された画像を表示する画像表示部と、

を具備し、

上記判定部は、上記撮影部による連続撮影時に上記判定を行い、この判定結果を連続画像と共に記録し、

また、上記判定部は、背景画像の動きベクトルを検出し、上記画像処理部は、上記動きベクトルが中央向きの場合に上記連続された画像の大きさを変化させる画像処理を行うことを特徴とする撮影装置。

【請求項2】

さらに、画像に人物の顔があるか否かを検出する顔検出部を有し、上記画像処理部は、上記顔検出部によって顔があることを検出した場合に、上記連続された画像の大きさを変化させる画像処理を行うことを特徴とする請求項1に記載の撮影装置。

【請求項3】

上記撮影部は、撮影装置の前方を撮影する前方撮影部と、後方を撮影する後方撮影部を有し、上記前方撮影部および後方撮影部によって撮影された画像を同時に記録し、

上記判定部は、上記前方撮影部によって撮影された画像に基づいて判定する、

ことを特徴とする請求項1に記載の撮影装置。

【請求項4】

上記撮影部はズームレンズを有し、

上記判定部は上記判定に当たって、ズーミング前後で動きベクトルを検出する位置を調

整する、

ことを特徴とする請求項 1 に記載の撮影装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】撮影装置

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、撮影装置に関し、詳しくは、デジタルカメラやビデオカメラ等の撮影装置で撮影した動画または連写のデジタル画像を、スライドショーや動画で再生表示する撮影装置に関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は、このような事情を鑑みてなされたものであり、移動していく様子を容易に表現することのできる撮影装置を提供することを目的とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記目的を達成するため第 1 の発明に係わる撮影装置は、撮影者と撮影装置の位置関係を一定にして撮影位置を移動しながら連続撮影を行う撮影装置において、被写体像の画像データを取得する撮影部と、上記画像データに基づいて、上記撮影位置の移動に伴って変化する背景画像の変化を判定する判定部と、上記判定部による判定に基づいて、上記連続撮影された画像の大きさを変化させる画像処理部と、上記画像処理部によって処理された画像を表示する画像表示部と、を具備し、上記判定部は、上記撮影部による連続撮影時に上記判定を行い、この判定結果を連続画像と共に記録し、また、上記判定部は、背景画像の動きベクトルを検出し、上記画像処理部は、上記動きベクトルが中央向きの場合に上記連続された画像の大きさを変化させる画像処理を行う。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【0010】

第2の発明に係わる撮影装置は、上記第1の発明において、さらに、画像に人物の顔があるか否かを検出する顔検出部を有し、上記画像処理部は、上記顔検出部によって顔があることを検出した場合に、上記連続された画像の大きさを変化させる画像処理を行う。

## 【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【0011】

第3の発明に係わる画像処理装置は、上記第1の発明において、上記撮影部は、撮影装置の前方を撮影する前方撮影部と、後方を撮影する後方撮影部を有し、上記前方撮影部および後方撮影部によって撮影された画像を同時に記録し、上記判定部は、上記前方撮影部によって撮影された画像に基づいて判定する。

第4の発明に係わる撮影装置は、上記第1の発明において、上記撮影部はズームレンズを有し、上記判定部は上記判定に当たって、ズーミング前後で動きベクトルを検出する位置を調整する。

## 【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 8】

本発明によれば、移動していく様子を容易に表現することができる撮影装置を提供することができる。